

キャリア形成支援プラン

役に立つツールとスキルの例

- Excel, Access
- Python (Accessで扱えない2GB超データの処理)
- RPA, VBA (業務の自動化)
- AI, DX化 (業務の効率化)

情報分野



税関業務の知識習得段階

現場経験・出向

- 通関・旅具・外郵・貨物検査・犯則調査等現場での業務を通じて、人や貨物に関連する情報やデータを把握。
- 情報を一元管理するセンター機構等へ出向することも可能であり、視野を広げることができる。

データ加工・分析

- 学生時代に習得した能力を活用。

係員

20代

知識・技術の活用段階

部門の
戦力

データ加工・分析

- 現場での課題・懸案事項に対して、データ加工・分析に取り組み、業務に活用可能な資料・情報等を提供・発信。

能力向上

- データサイエンスに関する研修等を受講し専門的な知識を得て、**情報管理・分析能力を向上**。

調査官
(係長級)

30代

企画・立案・開発段階

部門の
中核

企画・立案・開発

- 通関や貨物検査等の現場業務を支援する情報の構築、**システムの企画・立案・開発**。

部下職員の育成

- 部下職員へ指導・助言を行い、情報分野の専門家を育成。

関係機関と調整・連携

- **関係部門・センター機構、関係機関と調整・連携**し、効果的な業務運営に貢献。

上席官
(課長補佐級)

40代～

情報マネジメント段階

部門の
プロ

部門マネジメント

- **情報分野のプロフェッショナル**として、情報分析業務を統括し方向付けを行うとともに、部門のマネジメントを行う。
- 税関内の関係部門、センター機構、関係機関との連携を主導。

出向

- センター機構へ出向し、全国的な課題・懸案事項に対して、関係機関と連携し施策の企画・立案を行う。

統括官
(課長級)